

TOPIC
1

海外での事業拡大に向けて 販売拠点を強化

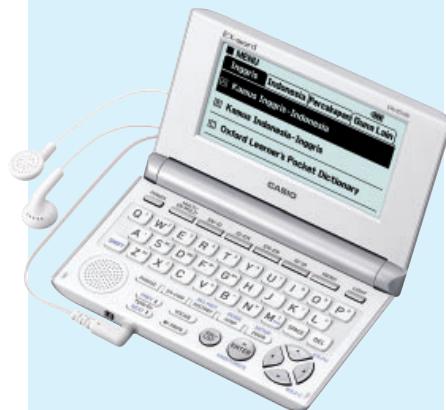
当社は、事業拡大を目指す海外の成長市場において、営業・マーケティング活動の強化を目的とした販社体制の構築を戦略的に進めています。昨年10月、中東地域の販売活動と将来的なアフリカ市場へのハブ拠点としての役割を視野に入れて、ドバイに設立した「カシオミドルイースト」の営業を開始。また、今年1月には「カシオマレーシア」を立ち上げ、シンガポール販社傘下の拠点として東南アジアでの事業拡大を目指しています。さらに、インターネットでの通信販売が急速に成長している中国においては、商品によって分けていた販売機能を1社に統合し、全てのカシオ製品を扱う新会社「カシオ中国」の営業活動をスタートしました。



TOPIC
2

インドネシアの 電子辞書市場に参入

電子辞書の海外拡大のため、インドネシアで電子辞書の販売を開始しました。発売モデルは、高校生向けの2機種。インドネシア語－英語辞書や英英辞典を中心に、上位機種には13のコンテンツ、標準機種には5コンテンツを収録しています。およそ10万語分の英語のネイティブ発音を収録するなど、質の高いコンテンツにこだわっています。



TOPIC
3

電卓・電子辞書がメーカー別販売数量 シェアで10年連続の1位

GfK Japan調べによる2013年1月～12月のメーカー別販売数量シェアにて、当社は電卓と電子辞書の部門で1位となりました。電卓と電子辞書の国内販売台数は10年連続で1位を獲得しています。

※調査方法:対象期間中に全国有力家電量販店の販売実績を集計



TOPIC
4

鍵盤が光る電子キーボードで 再生可能エネルギーを楽しく学ぶ

「そらべあ基金」は、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを普及させるための啓発活動をしているNPOです。太陽光発電パネルと蓄電池を使って鍵盤が光る電子キーボードを演奏するなど、再生可能エネルギーについて子供たちがわかりやすく学べる授業を展開しています。電子キーボードなど機材一式は、そのまま学校に寄贈しています。



TOPIC
5

「カシオサイネージ」を 三井住友銀行から受注

新規事業の一つとして展開する「カシオサイネージ」を三井住友銀行から200台受注しました。小型プロジェクターとパネルを組み合わせた「カシオサイネージ」は、店頭を訪れるお客様に強いアテンション効果で働きかけるほか、クラウドサービスと連携したくじやクーポンなどのサービスにより店頭でダイレクトに商品を推奨できるツールです。



※写真は、受注した製品仕様・サービス内容と異なります。